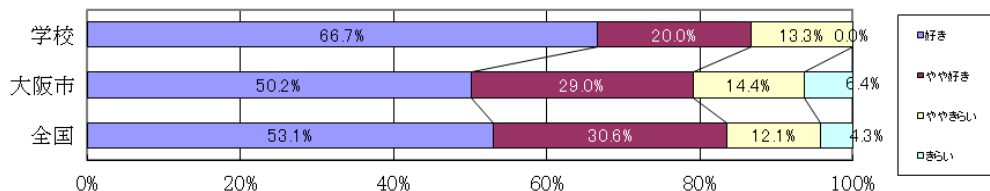


本校でよかった項目(女子)

本校の特徴的な結果

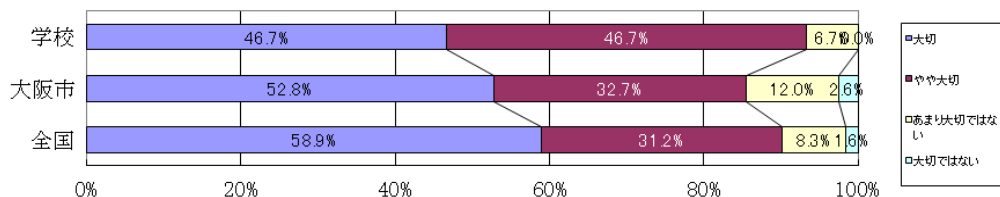
検証項目1

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



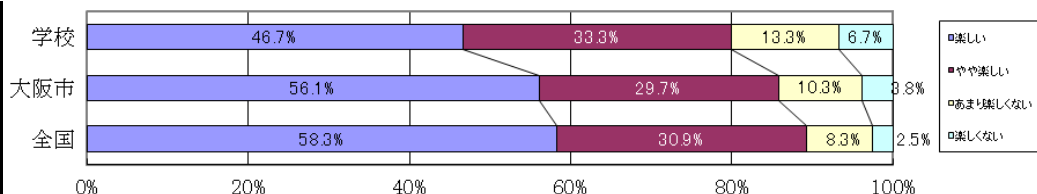
検証項目2

あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切ですか



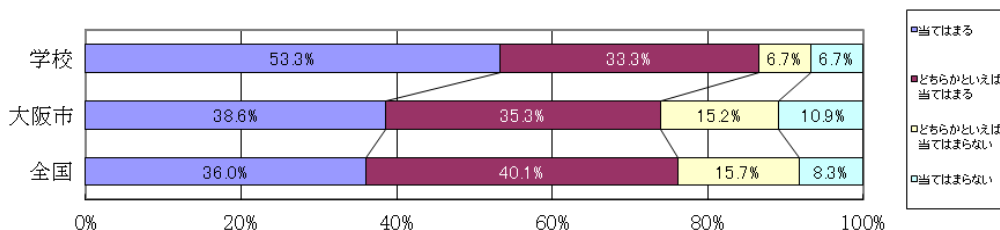
検証項目3

体育の授業は楽しいですか。



検証項目4

自分には、よいところがあると思う



成果と課題

検証項目1でわかるように、86.7%の児童が、「運動やスポーツをすることが好き」、または、「やや好き」と回答し、運動やスポーツをすることが嫌いな児童は、少ない。検証項目2でわかるように、93.4%の児童が、「運動やスポーツは大切」、または、「やや大切」と回答し、運動の大切さを理解している。検証項目3でわかるように、80%の児童が、「体育の授業は楽しい」、または、「やや楽しい」と回答した。この項目は、大阪市と全国より低い。検証項目4でわかるように、86.6%の児童が、「自分には、よいところがある」と回答し、自尊感情が高いことがわかる。

今後の取組

本校の児童（5年生）は、運動やスポーツをすることが好きで、運動やスポーツの大切さを理解し、体育の授業を楽しく受けている。また、自尊感情が高い。

そこで、運動技能の習得・向上に目を向けさせて、体力・運動能力を大いに向上させる必要がある。

そのために、体育主任を中心として、研修会を開き、体育科の授業改善や、体育的行事の創造や、充実・発展に取り組む必要がある。